



京都橘大学研究ユニット「海外と日本文化」

公開シンポジウム

# 変わりゆく伝統 海を越える文化

2024年3月20日(水・祝)

13時30分～16時30分

[定員] 55名・申込順(QRコードから)

参加費  
無料

## パネリスト



于修忠氏

(東華菜館店長)

「伝統たる所以とは?  
～京都における  
伝統中華料理を切り口に～」



オースティン・モア氏

(文化庁研究官、滋賀県・日野まちなみ保全会事務局長)

「在住外国人が見る  
日本の伝統文化存続の危機」



サスキア・トールン博士

(文化学圏大学大学院助教、NHKワールドリポーター)

「外国人着物研究家が見た  
ファッションとしての着物;  
伝統民族衣装のイメージからの打破へ」

特別  
ゲスト



マリアさん

(沖縄料理「美り島物語」オーナー、  
島唄歌手・三線奏者)

\*演奏はありません



講演の後、会場の皆さんも交えて  
パネルディスカッションを行います。  
奮ってご参加ください。



本イベントへの  
申込みはこちら

プレシンポジウム上映会 10:00-12:00

無料

プッチーニに挑む  
～岡村喬生のオペラ人生～



名作オペラ「蝶々夫人」における  
日本誤認を正すべく闘った  
国際的オペラ歌手の  
ドキュメンタリー映画

会場

キャンパスプラザ京都

JR京都駅北側出口から  
西へ徒歩3分

二階第一会議室



主催

京都橘大学研究ユニット「海外と日本文化」  
鈴木あるの・佐野仁美・平賀緑

問合せ

suzuki-ar@tachibana-u.ac.jp (鈴木あるの)